

2023年度企画展

歪み動く大地

郷土が寄りそってきた変動の痕跡を辿る

会期

令和5年 7月22日[土]ー
9月24日[日]

会場

富山県 立山カルデラ砂防博物館
エントランスホール、企画展示室

後援／国立大学法人富山大学都市デザイン学部
一般社団法人立山黒部ジオパーク協会

観覧無料



山と川と人のミュージアム

富山県 立山カルデラ砂防博物館

富山県中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂68 TEL. 076-481-1160 FAX. 076-482-9100

<https://www.tatecal.or.jp/tatecal/index.html> [立山カルデラ砂防博物館](#)

写真上より 飛騨山脈空撮*、黒部川花崗岩猫又谷出合露頭、呉羽山丘陵空撮*、跡津川断層真川露頭 *写真提供：富山国際大学教授 助重 雄久 氏

2023年度企画展

歪み動く大地

会期

令和5年 7月22日[土]ー9月24日[日]

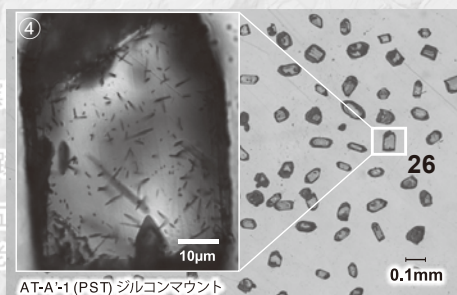
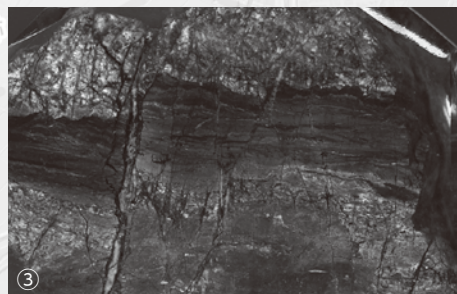
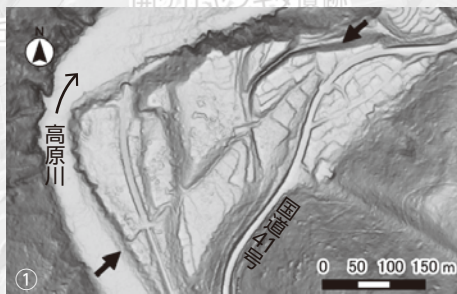
会場

富山県 立山カルデラ砂防博物館
エントランスホール、企画展示室

大地に働く僅かな歪みは長い時間を経て飛騨山脈や呉羽丘陵など、県民には馴染み深い郷土の地形を築き上げ、独特な風土とともに地震や土砂災害などの災いをもたらしてきました。

変動する大地に翻弄されながらも、先人達はその地形と営みによる恵みと教訓を活かし、独特の地域社会と郷土の景観を築き上げてきました。

本企画展はそうした馴染み深い郷土の景観や暮らしの中に見え隠れする、歪み動く大地の営みを紹介し、変動する大地での生き方を温故知新とし、これからの共存のあり方を考えます。



- ① 高原川とその河岸段丘を食い違わせる跡津川断層
資料提供：神通川水系砂防事務所
- ② 飛騨市宮川町野首で行われたトレンチ調査
写真提供：富山大学名誉教授 竹内 章氏
- ③ 跡津川断層真川露頭のシュドタキライト
写真提供：早稲田大学教授 高木 秀雄氏
- ④ 跡津川断層の時を刻むジルコン
資料提供：(株)京都フィッション・トラック
- ⑤ 呉羽山断層と神通川が造り出した呉羽山丘陵

関連行事

いずれも入場無料

【講演会】8月20日(日) 13:00～(開場 12:30)

「飛騨山脈の深成岩マグマの貫入時期とテクトニクス」

一般財団法人電力中央研究所研究員 伊藤 久敏 氏

「呉羽山断層と神通川の営みとその地形」

国立大学法人富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏

定員 100 名 申込み不要 (先着順)

【サイエンスショー】7月29日(土)・30日(日)

「活断層を味わおう」

国立大学法人富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏

【展示解説】8月11日(金)*1、9月9日(土)*2、9月24日(日)*1

各日1時間程度 *1 13:30より *2 10:00より

解説者：国立大学法人富山大学名誉教授 竹内 章 氏

国立大学法人富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏

山と川と人のミュージアム
富山県 立山カルデラ砂防博物館

〒930-1405 富山県中新川郡立山町 芦崎寺字ナ坂 68 TEL.076-481-1160 FAX.076-482-9100
大館城跡 ホームページ <https://www.tatecal.or.jp/tatecal/index.html>

開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

7月15日～8月31日、9月16日～18日、9月23日～24日は9時開館

休館日 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日

※夏休み期間(7月19日～8月31日)は無休

企画展観覧料 無料

常設展観覧料 大人400円、大学生以下・70歳以上無料

交通 富山地方鉄道(立山駅)から徒歩1分
北陸自動車道(立山IC.)から車で約40分



ルート Map

